

第 1 章	現代社会	名前:	日 付	No.02

[問題 1]

代表的な文化の領域として、科学・芸術・宗教があげられる。次の A～D の文化は、科学・芸術・宗教のどの領域にあてはまるか。それぞれ答えよ。いずれにもあてはまらない場合は×を記入せよ。

- A 食料生産技術や航空技術、医学などが発達する。
 B 腰からていねいにお辞儀をし、はしを使って食事をする。
 C コンサートに出かけたり、美術展や演劇を鑑賞したりする。
 D 教会で礼拝をしたり、神社に参拝したりする。

[解答欄]

A 科学	B×	C 芸術	D 宗教
------	----	------	------

[問題 2]

次の各問いに答えよ。

- (1) 伝統文化を保護するための法律を何というか。
 (2) 下の①や②の文化財を何というか、それぞれ漢字で答えよ。
 ① 芸能や工芸技術などの文化財
 ② 絵画、建築などのような文化財

[解答欄]

(1) 文化財保護法	(2)①無形文化財	②有形文化財
------------	-----------	--------

[問題 3]

次の各問いに答えよ。

- (1) 右のイラストであらわされている伝統文化を何というか。漢字で答えよ。
 (2) (1)は、下の[]のどの文化財にあてはまるか。
 [有形文化財 無形文化財 民俗文化財 記念物]



[解答欄]

(1) 能	(2) 無形文化財
-------	-----------

[問題 4]

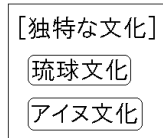
次の各問いに答えよ。

- (1) 沖縄や奄美群島の人々によって受け継がれてきた文化を何というか。
- (2) 北海道などでくらししてきた先住民族による文化を何というか。

[解答欄]

(1) 琉球文化	(2) アイヌ文化
----------	-----------

[解説]



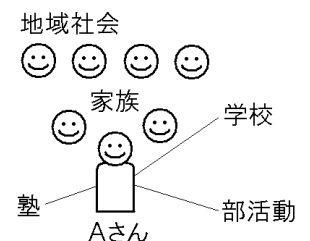
日本には、**琉球文化**と**アイヌ文化**という 2 つの独特な文化がある。琉球文化は、旧琉球王国の領土であった沖縄や奄美群島の人々によって受け継がれてきた文化である。沖縄では、**中国や東南アジアとの歴史的交流や、アメリカの影響を受け**、さまざまな文化が融合した独自の文化が形成された。もう 1 つは、北海道などの先住民族の**アイヌ文化**である。アイヌの人たちは、身の回りの自然などを「カムイ(神)」としてうやまう独自の文化をもっている。

[問題 5]

右の図は A さんが所属している社会集団をあらわしている。これを見て次の各問いに答えよ。

- (1) A さんにとって最も身近な社会集団を、図中から選んで書け。
- (2) A さんが目的をもって所属している社会集団の組み合わせとして正しいものを次のア～エから 1 つ選び記号で答えよ。

- ア 家族・地域社会・学校 イ 地域社会・学校・部活動
ウ 地域社会・学校・塾 エ 学校・部活動・塾



[解答欄]

(1) 家族	(2) エ
--------	-------

[解説]

家族や地域社会は生まれたときに所属が決まる社会集団であるので、自分で選ぶことはできない。これに対し、学校は例えば私立中学を選ぶこともできる。また、部活動や塾なども自分の意志で決めることができる。

[問題 6]

次の文章の①、②にあてはまる語句を下の[]より選べ。

人間は、(①)の一員としてでなくては生きていくことはできない。そのため、人間は(②)であるといわれる。

[家族 社会的存在 個人的存在 社会 民主 共同]

[解答欄]

① 社会	② 社会的存在
------	---------

[問題 7]

次の文中の①～③に適する語句を、下の[]からそれぞれ選べ。

- ・人間はさまざまな社会集団の中で生活しており、(①)といわれる。
- ・社会集団では、人々の間で時に対立が生じるが、トラブルを避け、おたがいの関係を良好に保つために(②)をめざそうと努力する。
- ・時間、お金、労力などを無駄なく使うことを(③)という。

[公正 効率 社会的存在 合意 少数意見 投票]

[解答欄]

①社会的存在	②合意	③効率
--------	-----	-----

[解説]

対立→話し合い→合意
効率と公正が重要

社会集団の中で、考え方や求めるもののちがいがから対立が生じた場合、話し合いで合意をめざす必要がある。みんなが納得できる解決策を考えるにあたっては、効率と公正の2つが重要になる。

効率とは、みんなの時間やお金、もの、労力を無駄なく使うようになっているかということである。

公正とは、手続きの公正さと機会や結果の公正さである。

例えば、10個のいちごを兄・弟・妹の3人で分ける場合、結果の公正さのみを重視して1人3個ずつに分けるとすると、1個余ってしまう。いちごを1つの資源と考えた場合、この1個を食べずに余らせたままにしておいては無駄になり、効率的とはいえない。

そこで、兄が「自分が一番年上だから4個、弟と妹は3個ずつ」と勝手に決めてしまうのは、一方的であり、手続きの公正さに欠ける。また、弟や妹は「なんで、兄だけが1個多いのか」と不満を持つかもしれない、機会や結果の公正さにも欠ける。

そこで、兄弟3人で話し合ってじゃんけんで決めることにし、勝った人が4個、あとの2人が3個ずつもらうことにしたとする。じゃんけんの結果、兄が4個、弟と妹が3個ずつとることになった場合でも、先ほどの場合と違い、弟や妹も一応納得するであろう。「話し合い→じゃんけん」という手続きの公正さがあるためである。また、兄が1個多くとも、「じゃんけんで決めたのだから」と考えるであろう。

この場合、機会の公正さも確保されていると考えてよい。

[問題 8]

社会集団の中では、さまざまな対立が生じることがある。それを解決するために話し合いを重ね、合意をめざす。その合意がみんなが納得できるかどうかを判断する考え方として、次の①、②があげられる。①、②の考え方を何というか。それぞれ漢字2字で答えよ。

- ① みんなの時間やお金、もの、労力などを無駄なく使うこと。
- ② 一人ひとりの考えや置かれている状況に目を向け、特定の人が不当に扱われないようにすること。

[解答欄]

①効率	②公正
-----	-----